

【脊索動物】

一生あるいは幼生期に脊索（体を支え神経を保護する棒状のもの。ヒトを含む脊椎動物は脊索の周りに骨ができ脊椎となる。）を持つ動物です。単体あるいは群体をつくり、浮遊生活をするもの、岩や貝殻などに固着して生活するものなどがあります。

ユウレイボヤ属

【見られた地点：①・②・③・④】

高さ 10cm になり、本州の各内湾、瀬戸内海に分布します。透明な体を透かして見える白い縦線は、精子の詰まった輸精管です。近縁種のカタクウレイボヤとしばしば混生します。



エボヤ

【見られた地点：①・②・③・④】

体は長い円筒状ですが、体の後端部が細く柄状になります。柄を含む全長は 15cm に達します。北西ヨーロッパ、ポルトガル、地中海、北米両岸、オーストラリアなどでは東アジアからの外来種として知られています。



シロボヤ属

【見られた地点：①・②・③・④】

体の後端で他物に付着します。体長 5cm ほどになり、白色または黄白色をしています。潮間帯下部から水深 80m の岩礫上や転石下などに生息するほか、ブイや岸壁など人工構造物上に多数みられることがあります。

(上記の内容はシロボヤの説明)



ホヤ綱

【見られた地点：①・②・③・④】

群体は膜状で通常 2～4mm くらいの厚さになります。生息場所は潮間帯下部から水深 20～30m で、岩石、海藻、貝殻などの表面を覆います。北海道以南の日本各地に分布します。

(上記の内容はイタボヤの説明)



【脊椎動物】

魚類からヒトまでを含む動物で、脊椎を持ちます。脊椎とは、一般的に背骨と呼ばれる部分です。生きもの調査では魚だけを調べました。

カサゴ

【見られた地点：③・④】

北海道南部以南の各地、東シナ海に分布します。沿岸の岩礁域に生息し、カニ・エビ類、ハゼ類、トラギス類、ヒザラガイ類、フジツボ類などなんでも食べます。約 30cm まで大きくなります。



メバル類

【見られた地点：①・②・③・④】

沿岸の岩礁域に生息し、小型の魚類、ヨコエビ類、エビ・カニ類、巻貝、ゴカイ類などを食べます。卵胎生で、メスのおなかの中で孵化した稚魚は、12月から2月にかけて生まれ、護岸付近や岩礁、干潟域、アマモ場などの中層で生活します。

